

## 生成 AI 活用研究会 事業報告

増山和晃\*, 新島聖治\*

### Annual Report of Meeting for the Study on AI Utilization

Kazuaki MASUYAMA and Seiji NIIJIMA

#### 1. はじめに

近年、急速に普及が進む『生成 AI』。ものづくり企業においても、生成 AI をどのように活用するかに関心が集まっている。

令和 6 年度新たに立ち上げた「生成 AI 研究会」では、生成 AI に関する情報提供や意見交換及び課題抽出を行い、県内企業と共に生成 AI の理解・活用を進めていくことを目的とした。

を講師にお迎えし、「生成 AI の利用可能性と知財等の法的リスク」をテーマにご講演いただいた。当日は、生成 AI の基礎的なことから、生成 AI により何がもたらされるか、使用時のリスクなどについて、事例を交えて講演していただいた。

また、「INPIT 三重県知財総合支援窓口の紹介」について、INPIT 三重県知財総合支援窓口の伊藤光弘氏より、その利用方法などについて情報提供をいただいた。

#### 2. 研究会の概要

今回の研究会では、独立行政法人工業所有権情報・研修館の知財戦略エキスパートの廣岡寿人氏

研究会当日は 23 名の出席者があり、特許や意匠などにおける AI の活用状況など、活発な議論が交わされた。表 1 に、本研究会の概要を示す。

表 1 令和 6 年度第 1 回生成 AI 研究会の概要

研究会	開催日	場所	内容	参加者数
第 1 回生成 AI 研究会	令和 6 年 9 月 18 日	窯業研究室 会議室	<b>【講演】</b> 「生成 AI の利用可能性と知財等の法的リスク」 講師：独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT） 知財戦略エキスパート 廣岡 寿人 氏 <b>【取組紹介】</b> 「INPIT 三重県知財総合支援窓口の紹介」INPIT 三重県知財総合支援窓口 伊藤 光弘 氏	23 名

#### 3. まとめ

今後も研究会の開催を通して、県内地域産業と関連企業等の課題やニーズの発掘、情報提供、企業支援の取組を進めていく予定である

\* 窯業研究室